

中部圏No.1のニンジン産地 碧南市のブランドニンジン  
『へきなん美人』収穫最盛期！  
【1月7日（水）／収穫風景を紹介します】

J Aあいち中央碧南人参部会（部会長：加藤浩孝）が栽培する碧南市のブランドニンジン「へきなん美人」が、1月～2月にかけて収穫最盛期を迎えます。碧南市は中部圏No.1のニンジン産地です。収穫は11月中旬から始まっていますが、この時期が一年で一番甘くなります。これは、ニンジンの防御機能が働き、気温が下がっても凍ってしまわないように、糖分を蓄えるためといわれています。



専用の機械でニンジンを収穫します

2025年度作は、8月中下旬からの播種以降、猛暑と乾燥で一部発芽不良がみられたものの、生産者による適正な栽培管理が行われ、順調に生育しました。「へきなん美人」の名に恥じない品質に仕上がっており、収量は昨年度より多い見込みです。

**美しく、そして甘い「へきなん美人」**

鮮やかな紅色と強い甘さが特長です。ニンジン独特の臭みが少ないので、子どもやニンジンが苦手な方でも食べやすいと好評です。

**色・味、それぞれのポイント**

《鮮やかな紅色》根（食べる部分）が伸びる秋ごろに温度が下がりすぎないことが重要。約30cmの高い畝を立て、陽が当たる面積を増やすことで地面を温める工夫をしています（これを行っている産地は珍しい）。

《甘み》①品種と②碧南の土質などが要因。品種は、「あいちの伝統野菜」の碧南鮮紅五寸をもとにした甘みの強いオリジナルの品種で、この種は門外不出で部会員のみが使えます。また、碧南市南部地区は矢作川流域の水はけの良い土質（砂地）で、碧南で育てると、「どんなニンジンでも甘くなる」と種苗関係者の間で評判です。

**J Aあいち中央碧南人参部会**

- 部 会 員：101人      ■栽培面積：約116ヘクタール
- 出荷時期：11月中旬～3月中下旬（「へきなん美人」は2月下旬まで）
- 総出荷量：約7,000トン进行計画
- 販 路：中京地方の市場を中心に、北陸・関西・関東方面へ出荷。当J A農産物ネット販売サイト「碧海そだち～オンラインショップ～」でも取り扱っています。



鮮やかな紅色と「へきなん美人」の名にふさわしい形が特長のひとつ

**<メディア対応日>**

- 日 時：2026年1月7日（水）／午前8時45分
- 集合場所：J Aあいち中央碧南あおいパーク産直（碧南市江口町3-15-3）
- ※当日は、畑（車で約5分移動）で収穫風景の撮影、生産者へのインタビューを予定しています。
- ※対応日前後の天候等で、日時を変更する場合があります。

（お問い合わせ先）※取材にお越しいただく際には、事前にご一報ください。  
J Aあいち中央総合企画部企画課（広報担当：山村、杉浦、細井）  
TEL：0566-73-5504／携帯：080-3667-3853／E-mail：kouhou@jaac.or.jp